

平成30年度健康寿命延伸産業創出推進事業
(地域の実情に応じたビジネスモデル確立支援事業)
審査項目一覧

資料2

以下の視点を基本に審査する

1 事業目的について

- ・ 目的・目標が明確で妥当なものであるか。
- ・ 地域版協議会や地域の関係者等を通じて、地域や職域における健康寿命延伸や地域包括ケアシステム構築に向けた現状と問題点を具体的に把握しているか。
- ・ 医療・介護分野の関係者との協議を踏まえた事業案となっているか。
- ・ 提案する事業によって社会課題の解決や産業創出に資する波及効果が期待できるか。

2 事業目的を達成するための事業設計について

- ・ 事業骨子の論理展開は適切か。
- ・ 現状の仕組みや環境ではなぜ問題を解決できないのかを掘り下げて分析した上で、適切な解決策が提案されているか。
- ・ 目的・目標を達成するための具体的な方法・スケジュールが計画されているか。
- ・ 目的・目標の達成度合いを検証・評価する具体的かつ妥当な方法が計画されているか。
- ・ 健康無関心層やこれまで捕捉できていなかった者の行動を変えられる可能性があるか。
- ・ 実施体制及び事業費は妥当か。

3 自走化可能性について

- ・ 事業の市場性・将来性があるか。
- ・ 提案する事業が持続可能なものであるか(事業主体者が明確であり、継続的な資金調達または早期の自走化が可能であるか)
- ・ ビジネス構築・展開における事業主体者の強みや過去の蓄積、資産が活かされているか。
- ・ サービス利用者が継続して利用を続けられる付加価値や仕組みがあるか。
- ・ ビジネスモデルにおける費用負担者、課金方法が現実的であるか。
- ・ 価値提供にあたり効果的または効率的な資源の調達先や調達方法が検討されているか。
- ・ 将来の顧客候補(事業者、住民など)を事業に巻き込み、協働する体制や方法が示されているか。
- ・ 事業そのものや事業の成果を広く展開することで他の地域にも展開可能か。
- ・ 事業に対する事業主体者の熱意や意気込みを感じることができるか。

4 その他(加点項目)

- ・ 大企業が代表団体である場合は、本補助事業により提供するサービスに関し、透明性・客観性・継続性の観点
を踏まえた当該サービスに係る自主的な品質評価の検討・策定を計画しているか。
- ・ 代表団体又は単独事業者が健康経営銘柄2018、健康経営優良法人2018の認定を受けているか。